

# 日本臨床検査専門医会

## 平成 18 年度第五回常任・第三回全国幹事会 議事録

平成 1 8 年 1 1 月 8 日

# 平成 18 年度 第 5 回常任・第 3 回全国 合同幹事会 議事録

開催日時：平成 18 年 11 月 8 日(水)、11 時 30 分～13 時

場 所：弘前文化センター 第 5 会議室

参加幹事：森三樹雄、熊谷俊一、水口國雄、池田齊、石和久、久谷直人、宮地勇人、  
今福裕司、諏訪部章、橋本琢磨、深津俊明、保嶋実、松野一彦、  
渡辺清明、佐藤尚武

参加監事：玉井誠一

出席 16 名

欠 席：橋詰直孝、市原清志、一山智、大谷慎一、岡部英俊、尾崎由基男、  
小野順子、北村聖、小出典男、犀川哲典、舘田一博、濱崎直孝、  
藤田直久、村上正巳、渡辺伸一郎

欠席 15 名

(敬称略)

森三樹雄会長の司会により、議事録署名人に、保嶋実幹事、松野一彦幹事を指名して議事に入った。

## 報告事項

### 1. 平成 18 年度中間会計報告 資料 1 (佐藤庶務・会計幹事)

資料提示の上で、10 月 30 日時点での平成 18 年度予算の執行状況および収支について説明があった。

### 2. 各種委員会報告

#### ① 未来ビジョン検討委員会 (久谷委員長)

明年の旭川での春季大会にて、現在活動している 5 ワーキンググループの活動内容および成果を報告する予定である。

#### ② 資格審査・会則改定委員会 (佐藤庶務・会計幹事)

橋詰委員長欠席のため、佐藤幹事から会則第 6 章 第 24 条の改正案を作成したことが報告された。審議事項参照。

#### ③ 情報・出版委員会 (石委員長)

LabCP、JACLaP NEWS、JACLaP WIRE は何れも順調に発刊されている。JACLaP WIRE の編集主幹が来年から今福先生 (現在は満田先生) に代わる。

#### ④ 教育研修委員会 (宮地委員長)

教育セミナーに関しては、担当校の負担が大きく、このままでは継続困難との意見が出ている。また関西での教育セミナー開催をどうするかという問題もある。教育セミナーはどうあるべきか、幹事会で今後の方向性を決めてもらいたい。

- 認定試験対策として、付け焼き刃の実技実習を行うことは意味がない。準備の負担が大きい実技実習は止めるべきである。(玉井監事)
- 教育セミナーでの実技実習は、認定試験における実技試験の対策として行われていると思うが、実技試験を実施していることは専門医認定機構でも高く評価されている。(渡辺幹事)
- 実技試験を行うことは結構である。ただその対策としてセミナーで短時間の実技を行うことはほとんど意味がない。(玉井監事)
- 自分としても教育セミナーで実技実習を行うことはそろそろ止めても良いと考えている。(森会長)
- 自分の経験でも自施設での実技研修が試験には役立った。セミナーの実習はそれ程役立ったとは思わない。しかし自施設で研修できない内容に対する対策も考えないといけない。(深津幹事)
- 以前にも提案したが、地域ごとに実技研修が実施できるようなシステムを構築すべきである。(玉井監事)
- 自分の経験では、あまり得意でない分野について何を学べばよいかを知ることが出来たという点では、教育セミナーの受講は有意義だったと思う。(松野幹事)
- 講義形式で研修すべ実技内容や習得法を示してやればよい。実習として実技を行う必要はない。(玉井監事)
- 近年担当校が受講者に配布している教材資料はかなり充実している。これを整備して受験者に利用してもらえば、実技実習を廃止してもかなりの部分は自習で補完できると思う。(佐藤幹事)
- 教育セミナーは受験対策よりも、検査専門医の知識・技量の up to date を図るために行うのが、本来の姿ではないか。(〆谷幹事、諏訪部幹事)
- G L M (教育) セミナーはそれを目的として行っている。今後更に充実を図る必要があるかもしれない。(宮地委員長)
- 教育セミナーの受講自体が暫定措置として受験資格に組み込まれている。これも筋論から言えば不合理で、暫定措置を何時止めるかもそろそろ日本臨床検査医学会に検討してもらいたい。(佐藤幹事)
- 議論はつきないが時間もあるので、そろそろこの話題は終わりにしたい。この後教育研修委員会が開催されるので、今回の議論をふまえて、そこで今後のセミナーについて検討して欲しい。(森会長)
- 方向性がある程度示されたと思うので、これをもとに本日の教育研修委員会で議論を進め、方針を決める。(宮地委員長)
- セミナーや試験に関する要望を専門医会として取り纏め、臨床検査専門医審議会に諮って欲しい。(渡辺幹事)

⑤ 渉外委員会 (池田委員長)

第 24 回日本臨床検査専門医会振興会セミナーが、「平成 18 年度診療報

酬改定」をテーマとして7月21日(金)に東京ガーデンパレスで開催された。約80名の参加者があり、意義深い講演と討議が行われた。来年の振興会セミナーは平成19年7月20日(金)に同じく東京ガーデンパレスで開催する予定である。テーマは未定で、今後決定する。

#### ⑥ 保険点数委員会

日本臨床検査専門医会の内保連への加盟が認められたことに伴い、保険点数委員会を設置した。委員長は水口副会長にお願いした。

第100回内保連例会が先月開催され、私と当会選出の水口、佐藤両委員とが出席した。厚労省保険局医療課 原課長による講演「今後の保険医療政策について」を聴き、大まかな方針を知ることが出来た。(森会長)

第100回内保連例会にて、平成20年の診療報酬改定に向けての活動予定が示された。4月上旬に加盟各団体から希望書を提出することになっており、予定が少し前倒しになっている。日本臨床検査医学会の委員会と連携して活動していきたい。(水口委員長)

### 3. その他

① 第17回日本臨床検査専門医会春季大会の期日変更 (佐藤庶務・会計幹事)  
第17回春季大会は明年の6月2、3日開催の予定であったが、担当する旭川医大から6月1、2日に変更する旨連絡があった。

#### ② 臨床検査振興協議会 臨時理事会報告

先月臨時理事会が開催され、森会長の代理で出席した。医療政策委員会に委員を追加推薦するよう依頼があった。理事会の概要は協議会の会長である渡辺清明幹事に説明をお願いする。(佐藤庶務・会計幹事)

日本臨床検査技師会がオブザーバーとして参加すること、厚労省と定期的に勉強会を開催すること、の2点が決まった。これに伴い医療政策委員会を拡大することになった。(渡辺幹事)

## 審議事項

### 1. 平成19年度予算について 資料2 (佐藤庶務・会計幹事)

平成18年度予算の執行状況を考慮し、平成19年度の予算案を提示資料の通り作成した。審議をお願いしたい。

- 予算案は承認された。

### 2. 平成19年度活動予定について 資料3 (佐藤庶務・会計幹事)

平成19年度の行事予定を提示資料の通り作成した。審議をお願いしたい。

- 1月19日の第1回幹事会は15～17時に変更して欲しい。(諏訪部幹事)
- 第1回幹事会は15～17時に変更し、また11月21日の幹事会、総会、講演会は時間を少し繰り上げるようになった。

3. 会則（第 24 条）の改定について 資料 4（佐藤庶務・会計幹事）  
橋詰委員長（欠席）から会則第 6 章第 24 条の改正案が提示資料の通り提案されている。審議をお願いしたい。
  - 表現について若干の質疑があったが、改正案は承認された。
4. 第 18 回日本臨床検査専門医会春季大会について（森会長）  
第 18 回春季大会の大会長は関西地区の先生をお願いしたい。自分としては熊谷先生を推薦したいと思うが、審議をお願いしたい。
  - 受諾の方向で考えたい。（熊谷副会長）
  - 熊谷副会長に大会長をお願いすることが承認された。
5. 平成 18 年度有功会員について 資料 5（森会長）  
今年度の有効会員として、提示資料にある 80 歳以上の 8 名の先生を推薦した。常任幹事会では既に承認されているが、全国幹事を含めた本会で、最終的な審議をお願いしたい。
  - 提案通り有効会員に推薦することが承認された。
6. 臨床検査振興協議会 医療政策委員会への委員推薦について（森会長）  
報告事項 その他の②にある通り、医療政策委員会の拡大に伴い、当会からも委員を追加推薦することになった。北里大学の狩野有作先生と佐藤庶務・会計幹事を推薦したいと思うが、審議をお願いしたい。
  - 提案通り 2 名の委員を追加することが承認された。
7. 臨床検査ガイドラインハンドブックについて（佐藤庶務・会計幹事）  
臨床検査振興協議会作成のハンドブックが専門医会事務所に 70 部程度残っている。この利用についてご意見を頂きたい。良い使い道があれば、積極的に利用してもらいたい。  
※ 幹事会では特に意見・提案は出なかったが、後日臨床検査振興協議会には多数の問い合わせがあるため、利用させて欲しいと渡辺幹事から申し出があった。
8. その他
  - ② 今年度の会費未納者がまだ 2 割ほどいる。年内にもう一度督促状を発送するかどうかご意見を伺いたい。（佐藤庶務・会計幹事）
    - 督促状を発送してください。（森会長）
    - コンビニエンス・ストアでも支払いできるようにしてもらいたい。（メ谷幹事）
    - その方向で検討する。（佐藤庶務・会計幹事）
    - 長期滞納者はさかのぼって督促するのか。（メ谷幹事）
    - 督促はしているが、支払ってくれない。一度退会し、未払い期間を挿んで再入会となっている場合もある。（佐藤庶務・会計幹事）
    - 長期滞納者を自動的に退会させることは出来ないのか。（メ谷幹事）

- 退会させるのは難しい。(森会長、渡辺幹事)
- 2年連続して会費未払いだった場合は刊行物を送らないことにする。(森会長)

③ 教授、助教授名簿について (森会長)

専門医会のホームページに臨床検査医学関連の講座および臨床検査部の教授、助教授名簿を掲載していたが、個人情報保護の問題もあり、掲載を中止する。

以上

議事録署名人

平成18年12月 4日

\_\_\_\_\_保嶋 実 印

平成18年12月 8日

\_\_\_\_\_松野一彦 印